

目次

1. 平成21年度知的財産教育の支援と普及に関する調査報告書

第1章	調査事業の概要	1
第1節	調査の目的・内容・方法	1
1-1-1	調査の目的	1
1-1-2	調査の内容	2
1-1-3	調査の方法	2
1-1-4	参加学校数の推移	3
第2節	平成21年度推進協力校の活動概要	6
1-2-1	年間活動概要	6
1-2-2	認定状授与式および説明会の開催	7
1-2-3	指導計画書(年間・学期)および指導報告書(月次・中間・年間)の提出	9
1-2-4	中間報告会および引き続き開催した中間報告会討論会	9
1-2-5	「産業財産権指導カリキュラムと指導マニュアル(総合編)」の 地域における検討会	11
1-2-6	年次報告会	11
第3節	各推進協力校の対象学科・科目・研究テーマ	13
第2章	平成21年度年間活動俯瞰	24
第1節	活動の概要	24
2-1-1	初参加校と参加経験校の学校数	24
2-1-2	主な活動内容及び特徴	24
第2節	実施科目・形態および実施時間について	27
2-2-1	高等学校指導要領について	27
2-2-2	実施科目・形態について	27
2-2-3	実施時間について	34
第3節	標準テキストの活用方法	36
2-3-1	本年度推進協力校で使用された標準テキストの種類と利用状況	36
	(1) 各標準テキストと学校区分	(2) 農業高等学校
	(3) 工業高等学校	(4) 商業高等学校
		(5) 高等専門学校
2-3-2	標準テキストの活用法	39
2-3-3	標準テキストと指導効果	48
2-3-4	副教材の活用法	51
2-3-5	教材の改良・新教材の開発	55
第4節	改善・工夫された指導法	57
2-4-1	採用された指導法とその成果	57
2-4-2	改善・工夫された指導法	66
	(1) 地域との連携活動	67

(2) 課題研究や既存科目での取組み	69
(3) 多科目で知的財産教育	70
(4) 身近で分かりやすい教材	71
(5) アイデア創出	73
(6) パテントマップ	74
(7) 講演会・見学会・セミナー開催	74
(8) 外部講師の講演会を系統立てて、複数回開催	75
(9) コンテストに参加	76
(10) 生徒主体の活動	77
(11) 起業・アントレプレナー教育・販売実習	77
(12) 先輩の活動を絡ませた活動や他校の活動を例示した活動	77
(13) 校内特許管理システムの構築	78
(14) ニュース報道の侵害事件等から学ぶ	78
(15) 全学科、または、全学年を対象	78
(16) WEB等のソフトと知的財産権	79
(17) 模型作成・デザイン創出・商標創作	79
(18) PDCA、PBLによる問題解決	80
(19) 「産業の発展史」「ヒット商品はこうして生まれた！」等の 歴史関連テキストから学ぶ	81
(20) 特許電子図書館IPDLの活用	81
(21) パソコンソフトイラストレータを利用して、商標をデザイン	82
(22) マインドマップの活用	82
(23) 教員・教官研修	83
(24) 出願	84
(25) 知的財産と資格	84
(26) 評価	85
(27) その他	85
第5節 学校組織の対応	87
2-5-1. 知的財産教育委員会等の設置と活動	87
(1) 委員会の設置	(2) 委員会の体制
(3) 委員会の開催頻度	(4) 委員会による支援
(5) 知的財産教育委員会支援の効果	
2-5-2. 知的財産関連学校行事の実施	92
第3章 調査のまとめ	94
第1節 平成21年度推進協力校活動のまとめ(2章のまとめ)	94
3-1-1. 活動の概況(2章1節のまとめ)	94
(1) 初参加校と参加経験校の活動	
(2) 主な活動内容及び特徴	

3-1-2. 実施科目・形態および実施時間について（2章2節のまとめ）	95
(1) 実施科目・形態	
(2) 実施時間について	
3-1-3. 標準テキストの活用方法と活用結果（2章3節のまとめ）	97
(1) 本年度推進協力校で使用された標準テキストの種類と利用状況	
(2) 標準テキストの活用法	
(3) 標準テキストと指導効果	
3-1-4. 改善・工夫された指導法（2章4節のまとめ）	100
(1) 採用された指導法とその成果	
(2) 改善・工夫された指導法	
3-1-5. 学校組織の対応（2章5節のまとめ）	101
(1) 知的財産教育委員会等の設置と活動	
(2) 知的財産関連学校行事の実施	
第2節 まとめ	104

2. 平成21年度 年次報告会におけるコーディネーターによる講評

(1) 農業高等学校	113
(2) 工業高等学校	129
(3) 商業高等学校	133
(4) 高等専門学校	139

3. 平成21年度「産業財産権標準テキストを活用した知的財産教育推進協力校」活用事例集（年間指導報告書の要約書）

分類別目次	144
-------	-----

農業高等学校

農01 宮城県農業高等学校	
希少健康野菜の有機栽培とアレルギー改善食品の開発と知財の学習を結びつけた授業展開	150
農02 福島県立岩瀬農業高等学校	
希少山野草の増殖及び品種改良、並びに野生キノコの人工培養法の確立を通じた知的財産教育の研究と展開	152
農03 山口県立田布施農業高等学校	
新たな農業用栽培機器の開発や学校加工品の商標登録から知的財産権を学ぶ	154
農04 長崎県立諫早農業高等学校	
1) 科目「グリーンライフ」における、知的財産標準テキスト総合編の活用	
2) 教科「植物育種」を通して知的財産を学ぶ ～育成者権について～	
3) プロジェクト研究活動を通して知的財産を学ぶ～諫農屋上緑化の取り組み～	156

農 05	長崎県立島原農業高等学校	
	専門高校生の知的創造で地域産業を活性化する	158
農 06	鹿児島県立伊佐農林高等学校	
	農業分野での知的財産権の活用の研究	160
工業高等学校		
工 01	北海道函館工業高等学校定時制課程	
	定時制工業高校への知的財産教育の導入と具体的実践	162
工 02	宮城県米谷工業高等学校	
	ハードウェア・ソフトウェア両面からの知的財産権教育	164
工 03	群馬県立太田工業高等学校	
	シーケンス制御技術を通じた知的財産権教育	166
工 04	横須賀市立横須賀総合高等学校	
	ものづくりの基本や「モノ」の大切さを通して知的財産権を学ぶ	168
工 05	長野県上田千曲高等学校	
	1年生：知的財産についての認識を深める	
	2年生：実際の現場見学などを通じて新たな知的財産に対する意欲増進	
	3年生：設計競技会（コンペ）など知的財産に関わる現場にふれ、実際の提案と 作品制作	170
工 06	長野県岡谷工業高等学校	
	CADを利用したものづくり実践と知的財産教育	172
工 07	山梨県立甲府工業高等学校	
	産業財産権制度を意識した「ものづくり」教育に活かす研究	174
工 08	新潟県立新潟工業高等学校	
	知的財産教育の推進と普及について	176
工 09	愛媛県立吉田高等学校	
	知的財産権教育のための教材研究とその実践	178
工 10	岐阜県立大垣工業高等学校	
	ものづくり教育を通じた知的財産権の理解	180
工 11	石川県立小松工業高等学校	
	標準テキストを活用した知財学習プログラムの開発	182
工 12	福井県立科学技術高等学校	
	ものづくりを通して産業財産権を学ぶ	184
工 14	徳島県立阿南工業高等学校	
	1) 「総合技術（学校設定科目）における産業財産権についての指導	
	2) 「課題研究」におけるものづくり活動と産業財産権の指導	
	3) 部活動におけるものづくり活動と産業財産権の指導	186
工 15	香川県立三豊工業高等学校	
	特別支援教育用資機材の研究開発を通じて知的財産権の重要性を学ぶ	188

工 16	福岡県立小倉工業高等学校	工業技術基礎及び課題研究における産業財産権教育	190
工 17	福岡県立戸畑工業高等学校	「ものづくり」を通じた知的財産権の基本的な考え方とシステムの理解	192
工 18	福岡県立八幡工業高等学校	工業技術基礎・課題研究・工作部・旋盤部における産業財産権教育	194
工 19	福岡県立三池工業高等学校	ものづくりを通じた知的財産教育の実践	196
工 20	福岡県立浮羽工業高等学校	工業技術基礎での産業財産権標準テキストの有効活用とものづくり	198
工 21	長崎県立島原工業高等学校	島原工業高校と島原農業高校および地域連携による知財教育	200
工 22	鹿児島県立鹿屋工業高等学校	ものづくり教育と連携した知的財産教育の推進	202
工 23	鹿児島県立加治木工業高等学校	ものづくりを通じて、知的創造力を育成し併せて知的財産権を学ぶ	204
工 24	鹿児島県立霧島高等学校	「ものづくり」とおして、知的財産権（産業財産権）を学ぶ	206
工 25	沖縄県立沖縄工業高等学校	1) 工業技術基礎：知的財産権に関する動機付け 2) 化学情報A：特許コンテストを通じた特許学習 3) 化学情報B：知的財産管理技能検定の学習内容を踏まえた知識の習得 4) 部活動：特許出願を意識したアイディアの発掘及び発明品の製作	208
商業高等学校			
商 01	群馬県立前橋商業高等学校	地域社会と連携した新商品開発を通して、知的財産権を学習する	210
商 02	埼玉県立八潮南高等学校	商品開発と産業財産権	212
商 03	山梨県立増穂商業高等学校	商品企画（ネーミングやパッケージデザイン）を通じて知的財産権の重要性を学ぶ	214
商 04	岐阜県立岐阜商業高等学校	・産業の発展と「商標」の役割について学ぶ ・地域活性化に貢献できる商品開発と知的財産について考える	216
商 05	兵庫県立姫路商業高等学校	商標権について ～商標からブランドへ～	218
商 06	玉野市立玉野商業高等学校	開発商品の育成・新商品の開発、ビジネス現場における知的財産権	220

商 07	倉敷市立玉島高等学校	商標開発を通して知的財産を学ぶ ～地域に根ざした商業教育を目指して～	222
商 08	鹿児島女子高等学校	商品開発を通じて、産業財産権を学ぶ	224
商 09	指宿市立指宿商業高等学校	ビジネス教育における知的財産権教育の実践	226
商 10	鹿児島県立大島北高等学校	高校生による地域ブランドの活性化と企画力・創造力のプレゼンテーション実践	228

高等専門学校

専 01	函館工業高等専門学校	創造実験、卒業研究、課題解決型学習等の 「ものづくり」教育を通じて、知的財産権を学ぶ	230
専 02	旭川工業高等専門学校	「ものづくり教育」での知的創造実践技術の醸成と人材育成教育を通して地域企業との連携を図る知的財産権活動の取組みを学ぶ	232
専 03	釧路工業高等専門学校	産業財産権を融合した創造工学	234
専 04	八戸工業高等専門学校	産業財産権標準テキストを教育・研究に活用した知的財産思考の育成	236
専 05	一関工業高等専門学校	知財授業の推進と対応できる教員の養成	238
専 06	群馬工業高等専門学校	技術者として必要な知的財産権の習得	240
専 07	岐阜工業高等専門学校	P B L型もの作り教育における知的財産権データベースの活用	242
専 08	鈴鹿工業高等専門学校	本校学生及び地域の青少年に対する知的財産教育の推進及び普及	244
専 09	富山工業高等専門学校	熱機関をテーマとした、技術と特許に関する実体験型授業	246
専 10	石川工業高等専門学校	1) 高専教育への知財教育の組み込み 2) 地域の小学生向け出前授業を通じた技術への興味関心の高揚と工夫する 心の涵養	248
専 11	津山工業高等専門学校	課題研究(3年)、経営と知財(5年、後期)の授業、及びロボット製作部(3～5年)や内燃機関同好会の活動(3～5年)を通じて、知的財産権制度を学ぶ	250
専 12	大島商船高等専門学校	1) パテントコンテスト応募を目指した産業財産権教育 2) 産業財産権教育を関連づけた創造演習教育	252

専 13	新居浜工業高等専門学校	
	技術者としての知的財産権に関する理解を深め、身近なテーマを題材にして明細書 作成能力を養う	254
専 14	久留米工業高等専門学校	
	課題研究の成果を特許に結びつける試みに関する研究	256
専 15	都城工業高等専門学校	
	アイデアをまとめる方法を体系化し、知的財産権を学ぶ	258

